

令和7年第3回定例会議案説明資料

1 議案第103号 令和7年度千葉市一般会計補正予算(第2号) 中所管

[地域防災無線整備事業]・・・・・・・・・・・・・P 2

[千葉マリンスタジアム基本計画策定]・・・・・・・・・・・・・P 4

【議案第 103 号】

令和 7 年度千葉市一般会計補正予算（第 2 号） 中所管
[地域防災無線整備事業]

補正予算書 P 13、14

1 補正理由

災害時における現場職員や避難所等との通信手段として整備している地域防災無線について、現在採用しているMCAアドバンスのサービスが令和 8 年度末をもって終了するため、地域防災無線の更新を行う。

サービスの早期終了に伴い利用終了時期によりお詫び金の受領額が変動することから、令和 7 年度中の更新が本市にとって最も有利となるため、所要の経費を補正予算として計上する。

2 補正予算額

【歳入】

雑入（お詫び金）	59,040千円
----------	----------

【歳出】

事業費	74,262千円
-----	----------

【内訳】

導入委託（機器本体、初期設定、端末保証）	66,000千円
----------------------	----------

運用費用（システム利用料及び通信費）	8,262千円
--------------------	---------

【財源】

市債（緊急防災・減災事業債）	66,000千円
----------------	----------

一般財源	8,262千円
------	---------

3 事業概要

災害時において、公衆通信回線の障害にかかわらず、市関係施設（区役所、市の出先機関、消防局等）、防災関係機関（国・県関係機関、警察、ライフライン機関、自衛隊等）、避難所（小・中学校、公民館等）等との通信手段を確保するため、公共安全モバイルシステム（※）を導入する。

整備台数：513台

※ 公共安全モバイルシステムについて

- ・携帯電話技術を活用した公共安全関係機関向けの無線システム
- ・輻輳の影響を受けにくい構成（ダブルキャリア）
- ・スマートフォンをベースとしているため拡張性に優れる
- ・災害時優先電話番号を取得可能
- ・専用アプリにより、災害時に同機種を保有している自治体間での通話も可能で、応援・受援ともに活用できる
- ・国や自治体での採用事例も多く、能登半島地震での活用実績あり

4 スケジュール

- ・調達：令和7年10月 入札・契約
10月～令和8年1月 発注・納品
- ・運用開始 2月

【議案第 103 号】

令和 7 年度千葉市一般会計補正予算（第 2 号）中所管

〔千葉マリンスタジアム基本計画策定〕

補正予算書 P 6

1 補正理由

千葉マリンスタジアム再整備基本構想に基づき、新スタジアムの具体化に向けて、基本計画を策定するため、所要の経費を補正予算として計上する。なお、本事業は令和 7 年度末から令和 8 年度にかけて実施することから、債務負担行為を設定する。

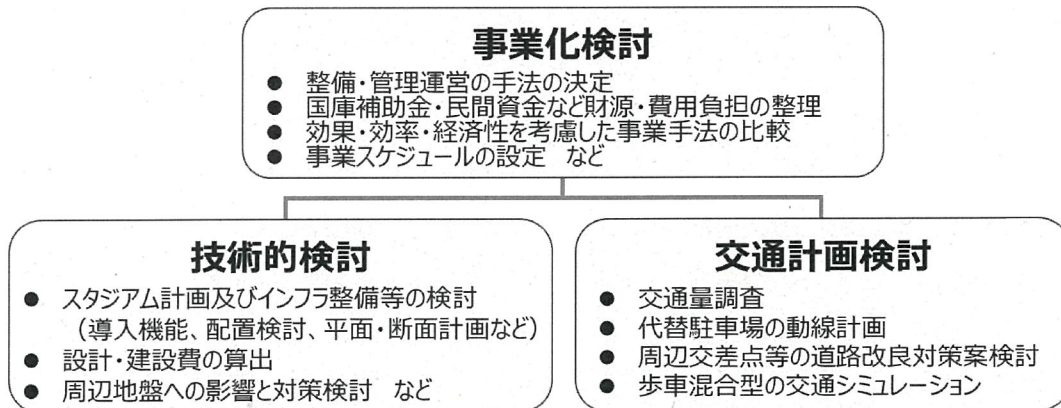
2 債務負担行為

- (1) 限度額 268,000 千円（基本計画策定支援業務委託）
(2) 期 間 令和 8 年度

3 事業概要

基本計画を策定するため、新スタジアムに関する施設配置や建築・設備面の「技術的検討業務」、整備費・収支・運営体制などの「事業化検討業務」、交通状況や渋滞対策などの「交通計画検討業務」の 3 つの業務からなる基本計画策定支援業務を実施する。

- （基本計画策定支援業務の内訳）
- ・ 事業化検討業務 56,000 千円
 - ・ 技術的検討業務 157,000 千円
 - ・ 交通計画検討業務 55,000 千円



4 今後のスケジュール（予定）

- 令和 7～8 年頃 事業協力者の募集・決定、基本計画の検討、事業実施の判断
令和 9～15 年頃 事業者選定、基本設計、実施設計、建設工事
令和 16 年頃 開業

千葉マリンスタジアムの再構築について【概要】

1 新スタジアム再構築における方向性

幕張メッセ駐車場に、幕張新都心の新たなまちづくりの拠点となる屋外型スタジアムを再構築する



- ・場所: 幕張メッセ駐車場 (土地所有者: 千葉県)
- ・敷地面積: 約11ヘクタール
- ・JR幕張豊砂駅から約500m (徒歩約6分)
- ※現スタジアムは、JR海浜幕張駅から約1,200m (徒歩約15分)

(1) 幕張メッセ駐車場に新設する理由

- ・十分な敷地面積
約11ヘクタールの敷地
- ・交通アクセス
JR幕張豊砂駅から500m程度
- ・周辺施設との連携
大規模商業施設や幕張メッセなど

(2) 屋外型スタジアムとする理由

- ・地域資源の活用・歴史の継承
幕張の「海・風・空」
- ・スタジアム経営の観点
音楽イベントの99%は3万席未満
- ・イベント等での機能分担
屋内型施設との棲み分け

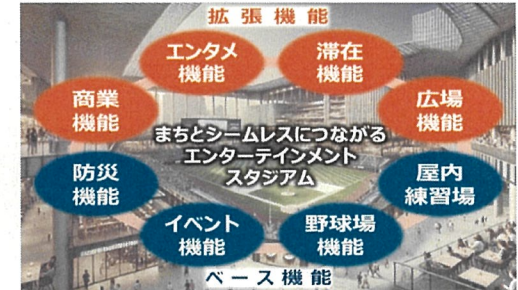
2 スタジアム再整備を契機とした幕張新都心のまちづくり

- 緑と水辺のネットワークを軸に「スポーツ・文化」で幕張新都心全体をつなぎ、回遊性・滞在快適性向上を目指す。
- 千葉県と連携し、スタジアム建設予定地の都市公園化(県立幕張海浜公園)の検討を進める。
- 代替駐車場は、県立幕張海浜公園Gブロックを候補地とする。



3 新たなスタジアムの姿

- まちとシームレスにつながるエンターテインメントスタジアム
- 市民利用が可能な公共施設としてのベース機能に加え、民間事業者の投資による整備を想定した拡張機能を誘導し、365日楽しめるスタジアムを目指す

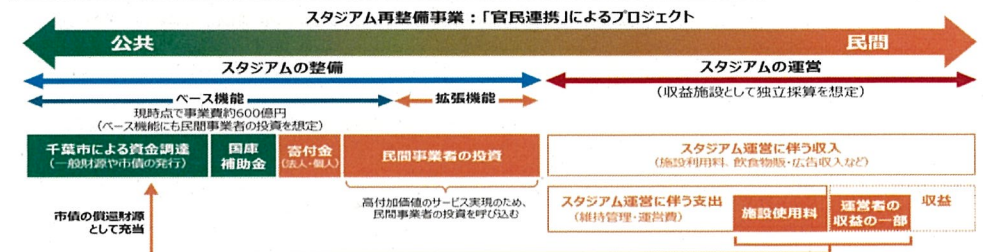


＜参考事例＞グローブライフ・フィールド(米国)

項目	概算事業費(税込)
スタジアム整備費 (ベース機能のみ)	約600億円
周辺インフラ整備費等	約50億円
合計	約650億円

※民間事業者の投資による整備を想定する「拡張機能」は含んでいない

4 事業スキーム



5 想定スケジュール

- 令和7～8年頃 事業協力者の募集・決定、基本計画の検討、事業実施の判断
- 令和9～15年頃 事業者選定、基本設計、実施設計、建設工事
- 令和16年頃 開業